

びわ湖かがやき カンパニー

びわ湖のほとりで「キラ」っと輝く滋賀県
中小企業家同友会メンバーの事業所、
商品、サービスをご紹介します。

<インタビュー>

取材まとめ：八木真紀（有限会社ウエスト）



vol. **71**
2017年5月発行

株式会社 ケレスたなか

テーブルの天板やパーティションの小ロット・短納期生産を可能にし、ネット販売を通じて商圏を全国に拡大する株式会社ケレスたなか。3年前には特殊技術で間伐材を用いた環境にやさしい集成材を開発、事業化しました。代表取締役、田中和彦さんを訪ねました。（取材／3月28日）

需要減の「箱もの」 厳しい木工業で42年

御社の沿革を教えてください。

田中 昭和50年に父が多賀町で木工屋（田中木工）を立ち上げたのがきっかけです。幼いころから父の背中を見て育ち、家具の製造やモノづくりに興味をもっていった私も、平成3年に勤め先を辞めて家業に入りました。景気のよかったころは、大手企業のOEMで家具や建具の構造躯体を中心に生産し、順調な経営状態でした。しかし、バブル期を過ぎるとメーカーが次々と生産拠点を海外へ移し、当社も改革を迫られました。当時の取引先経営者の方からのアドバイスで父が機械化を決断し、省力化に努めました。必要なときに必要な設備投資を行ったことで景気の荒

波を越え、生き残ることができたのではと思っています。父の時代は仕事を「待つ姿勢」でしたが、私が携わってからは、新しい分野やオリジナル開発を視野に「積極的に仕事を獲得しに行く姿勢」へと方針転換していきました。

ネット受注システムを確立 小ロット・短納期を実現

工場では従業員の方が、木製パネルの加工や梱包をされていますね。現在の主力事業とは。

田中 ここにある木製集成材のほとんどは、オフィスや店舗で使われるテーブル天板やパーティションに加工します。これらは当社で生産する製造物の90%を占めています。また注文は80%以上がインターネット受注であるため、取引先は全国区に及びます。企業はも

ちろん、個人でもさまざまな物をネットで買う時代です。天板だけを買いたい企業や業者、個人からの注文が、ネットを介して毎日入ります。



ファミリーレストランのパーティション



カフェチェーンのテーブル



仕上げ加工前のテーブル天板やパーティション

オフィス内のパーティションや大手ファミリーレストラン、外食チェーン店のテーブルの天板を加工。

間伐材の有効利用 滋賀の森と自然環境を守る

主なネット卸業者との間には受注管理システムを導入し、注文品の形状、材質、色、数量、価格などの入力注文者サイドの責任とすることでリスクをなくし、受注における事務管理も大幅に軽減しています。これらのシステム化は、在庫をなくし短納期・小ロット生産を可能にし、他社と大きな差別化を図っています。

3年前に社名を変更されていますね。オリジナル製品も生産されたとのこと。

田中 これからの時代で誰もが関心の高い環境問題を見据え、滋賀県内の森林を守るための事業を展開しました。森林の保護、川や琵琶湖の浄化、生

（裏面に続く）



森林の間伐材を用いたケレスボードを県内の学校教育施設に納入。
滋賀県内で高い評価を得ました。

態系の保全には、森林の定期的な手入れが不可欠です。しかし森林に光を入れるために行う間伐作業で伐採される木のほとんどはチップにして燃料や建材の下地となるにとどまり、有効な利用法がなく自然保護活動にかかる作業対価に至らないのが現状です。小径間伐材をもっと有効に活用できないかと考え、間伐材で作る構造合板や集成材に特殊な加工を施すことで「光触媒抗菌消臭化粧板クリーンケレスボード」として商品化しました。シックハウス症候群など健康にも配慮した環境商品であるため、多賀小・中学校、木之本小学校、虎姫高校、豊郷町立豊日中学校、滋賀県立大学などの教育施設でもデス

御社の今後の展開とは。
田中 ケレス事業部を立ち上げた当初

個人・会社の目標を明確に
ケレスボード販売網の整備

クの天板として納入させていただきました。この事業をきっかけに、社名も変更し、時流に乗って勢いをつけたいところでした。しかし、同事業の立ち上げ当初に運営ディレクションを担当者に任せきったことで、さまざまな面で無理が生じ、事業として革新的な成長を遂げられずにいます。私自身の反省すべき点であり、今後の課題を感じているところです。

の摩擦を機会に、今後の事業運営の仕方、従業員に対するケアについても改めて考えるきっかけになりました。現在は、テーブル天板やパーテーションなどの木工事業部に注力していますが、安定受注のある木工事業部



株式会社 ケレスたなか
彦根市出町73
TEL 0749-49-3911

で経営の基盤を築きながら、滋賀県の企業として滋賀の自然保護の一助を担う「びわ湖材」を有効活用するケレス事業部を再び活性化していきたいと考えています。
私を含め全社員が目的・目標意識をしっかり定めて進んでいけば、まだまだ伸びていけると思っています。



① 元の状態



② テーブルの側面を加工



③ 出荷前のテーブル天板



④ 梱包作業

「びわ湖かがやきカンパニー」に掲載希望の会員様は、同友会事務局までご連絡ください。お申し込み多数の場合は、理事会等で掲載順を決めさせていただきますのでご了承ください。

滋賀県中小企業家同友会事務局
TEL 077-561-5333

周年事業はチャンスなのです。

「10周年」を迎えられる企業は100社に5社。
「30周年」は10,000社に2.5社しか残らないと言われています。
有限会社ウエストは、周年事業をステークホルダーへの感謝と共に未来への意思表示の機会と考えています。弊社は、感謝を表現する式典の運用や記念誌製作から、戦略決定のお手伝い及びその広報活動など、周年に関するワンストップサービスをご提供いたします。

